

# グリーン購入

PRIVATE

「グリーン購入」って、聞いたことありますか？私は始めて聞きました。豊かで便利な生活は、その代償として、地球に大きな負担をかけてきました。新聞でも何度が取り上げています。が、大気汚染、ゴミ問題、森林破壊などです。こうした問題を踏まえて、購入の必要性を十分に考えて、できるだけ環境への負荷の少ない製品やサービスを優先的に選んで購入することを「グリーン購入」といいます。今月号では、このグリーン購入について調べてみました。

## 身近なところから

「エコ」とか「環境にやさしい生活」というと、ちょっと難しく聞こえますが、そんなことないんです。毎日の買い物から取り組むことができるのですから誰でもできる簡単な環境対策なのです。「環境にやさしい製品は高いから」と考えている方もいますが、実際にはそれほど値段に違いはありません。むしろグリーン購入が広がることで、より環境配慮型の製品が増え、安く買うことが出来るようになるというわれています。

## 環境にやさしいマーク



### 省エネ性マーク

省エネ法に基づき定められた省エネ基準をどの程度達成しているかを表示するマーク。

エアコン、蛍光灯器具、テレビ、電気冷蔵庫の5品目につけられています。通常、省エネ性マークの色はだいたい色ですが、省エネ基準を達成している場合は、マークが緑色で表示されています。



### エコマーク

環境負荷が少ないなど環境保全に役立つと認められる商品に付けられるマーク。



### グリーンマーク

古紙を原料の規定の割合以上利用している製品につけられるマーク。



### 低排出ガス車認定マーク

自動車の排出ガス低減レベルを示すマーク。有害部室の排出量で3段階で示される。



### 再生紙使用マーク

紙や紙製品み、原料として混ぜられている古紙の配合率を示す自主的マーク。

## 購入前の10ポイント

- 【本当に必要な物か？】  
まず、本当に必要なものか、よく考えることが必要です。買わずには控えて必要な量だけ購入する。
- 【ライフサイクルを考慮しているか？】  
資源を採取してから、製造、流通、使用、廃棄をライフサイクルといえます。それぞれの場面でどのような環境負荷がかかっているかを考慮するようにしたいものです。
- 【有害な物質をださないか？】  
使用する際に、環境や人の健康に影響を与えるような物質をささないでしょうか。
- 【省資源・省エネになる？】  
同じ種類の商品なら、省資源・省エネにつながるものを購入しましょう。
- 【自然を大切に利用しているか？】  
森林や魚介などの天然資源は、成長する範囲内で利用している限りは、枯渇することのない再生可能な資源です。
- 【長期間つかえる？】  
可能な限り長期にわたって使え、安易に廃棄物として出さないことが大切です。壊れたら修理ができるかどうかもポイントです。
- 【再使用が可能？】  
製品や部品をそのままの形状で同じ用途に利用する「再利用」は、一般的に「再利用」よりも環境負荷が小さいといわれています。再使用する仕組みができていくかどうかを考えましょう。
- 【リサイクルできる？】  
素材ごとに分けられるかどうか大きなポイントです。素材ごとに分別しやすいかどうかを考慮しましょう。
- 【再生材などを利用している？】  
再生された材料を使っている製品は、省資源に貢献しています。
- 【廃棄する時に処分が簡単？】  
再使用、リサイクルをしても、廃棄されるものが出てきます。排気する際に可燃・不燃の分別が簡単かどうかなどがポイントです。